自己評価アンケート

アンケート集計（R7.12月実施）

1．学校の教育目標

技術・人間性において全国で通用する学生を育成する

2．本年度、来年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

①多様性に通用すべく、幅広い知識や技術を学ぶ姿勢を養う

②コミュニケーション能力の向上。社会に出て恥ずかしくない礼節やマナーを身につける

③成長のために自ら行動し、自分の強みを周りにアピールする

3．評価項目の達成および取組状況

（1）．教育理念・目標

	評価項目	評価		
		今年度	前年度	比較
1-1.	学校の理念・目的・育成人材像が定められている （専門分野の特性を明確にする）	3.0	2.7	+0.3
1-2.	学校における職業教育の特色を理解し、生かす	3.2	2.8	+0.4
1-3.	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想をもつ	3.0	2.4	+0.6
1-4.	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などの 学生・保護者への周知に努める	3.4	2.8	+0.6
1-5.	各科の教育目標・育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけされている	3.2	2.5	+0.7

【課題と今後の改善策やご意見】

〇学校の育成人材像の周知をもう少し徹底していただきたい
〇毎月、保護者への報告をしっかり行うことができた

【学校関係者評価委員コメント】

〇将来、理美容業を担う人材となれるようにしっかりとした育成をお願いします
〇全ての項目において前年度実績を上回っており、成果が出てきているように感じる
〇全体的にそれぞれの職員が適切に目標に向かい努力していることが分かり、いい方向に向かっているように感じる

（2）．学校運営

	評価項目	評価		
		今年度	前年度	比較
2-1.	目的等に沿った運営方針の策定をする	3.0	2.7	+0.3
2-2.	運営方針に沿った事業計画の策定をする	3.2	2.6	+0.6
2-3.	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され有効に機能している	3.0	2.2	+0.8
2-4.	人事、給与に関する規定等の整備をする	2.5	2.8	-0.3
2-5.	教務・財務等の組織整備など意思決定システムの整備をする	2.8	2.7	+0.1
2-6.	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制の整備をする	2.7	2.7	0
2-7.	教育活動等に関する情報公開を適切に行う	3.5	3.0	+0.5
2-8.	情報システム化等による業務の効率化を図る	3.1	2.5	+0.6

【課題と今後の改善策やご意見】

〇理事会に教職員も入れてもらえたら、意見交換や情報共有をすることで、一貫性のあるより良い教育が行えるのではないかと思います

【学校関係者評価委員コメント】

〇教職員と意見を交わす機会もとても大切だと思うが、定款上理事会への参加は難しい点もあるので、評価委員で出た意見は職員会議等でしっかり共有していただきたい　また、職員間で出た意見を理事長を通してでも理事への報告ができる場があればさらに良くなるのではと思う

（3）．教育活動

	評価項目	評価		
		今年度	前年度	比較
3-1.	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等を策定している	2.9	2.8	+0.1
3-2.	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保を明確にしている	3.0	1.9	+1.1
3-3.	学科等のカリキュラムを体系的に編成する	3.1	2.3	+0.8
3-4.	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などを実施する	3.2	2.5	+0.7
3-5.	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等を行う	2.9	2.5	+0.4
3-6.	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ実技・実習等）を体系的に位置づける	3.2	2.6	+0.6
3-7.	授業評価の実施・評価体制は整っている	2.3	1.9	+0.4
3-8.	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れる	2.8	2.3	+0.5
3-9.	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準を明確にする	2.7	1.9	+0.8
3-10.	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけをしている	2.9	2.2	+0.7
3-11.	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員の確保している	2.1	2.0	+0.1
3-12.	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントを行う	2.3	2.1	+0.2
3-13.	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組を行う	2.8	2.2	+0.6
3-14.	職員の能力開発のための研修等を行う	2.5	2.0	+0.5

【課題と今後の改善策やご意見】

〇外部の講師を授業に組み込むことでマンネリ化の改善や流行の技術を学べる場を設けることができた

【学校関係者評価委員コメント】

〇個々の項目に関しては、全体的にもう少し評価が上がるよう教職員一人一人が工夫していく必要があるのではと感じる

〇職員の研修会等を積極的に行い資質の向上を図ってください

〇今後発達に少し問題のある生徒も増えてくるように予測されるので高い国家試験合格率を目指すためにも学校全体として専門の先生を踏まえた研修を行うなどして教育の向上を図ることが大切

（4）．学修成果

	評価項目	評価		
		今年度	前年度	比較
4-1.	就職率の向上を図る	3.6	3.0	+0.6
4-2.	資格取得率の向上を図る	3.4	3.0	+0.4
4-3.	退学率の低減を図る	3.3	3.0	+0.3
4-4.	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握する	3.1	2.8	+0.3
4-5.	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用している	3.4	2.2	+1.2

【課題と今後の改善策やご意見】

〇改善に努めようと教職員同士で考えているが、なかなか成果として表れない
〇新たな就職先の開拓をすすめたい

【学校関係者評価委員コメント】

〇改善に努めるために、どのようなことに取り組んだのか、その成果はどうであったか、成果が表れない部分はどのようなことか等より具体的に出すことで今後の改善点も見えやすくなるのではと思う
〇学生のやる気を引き出せるような教育が必要とされている
〇評価点数とは対照的な意見が出ているように感じるので個人差が大きいところなのではと感じた

（5）．学生支援

	評価項目	評価		
		今年度	前年度	比較
5-1.	進路・就職に関する支援体制を整備する	3.2	3.0	+0.2
5-2.	学生相談に関する体制を整備する	3.4	2.9	+0.5
5-3.	学生に対する経済的な支援体制を整備する	3.2	3.0	+0.2
5-4.	学生の健康管理を担う組織体制がある	2.9	2.4	+0.5
5-5.	課外活動に対する支援体制を整備する	3.2	2.8	+0.4
5-6.	学生の生活環境への支援を行う	3.0	2.1	+0.9
5-7.	保護者と適切に連携する	3.4	2.9	+0.5
5-8.	卒業生の支援体制がある	2.8	2.6	+0.2
5-9.	社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備をする	3.1	2.0	+1.1
5-10.	高校・高等専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組を行う	3.3	2.6	+0.7

【課題と今後の改善策やご意見】

【学校関係者評価委員コメント】

○この項目が、現場の関係者としては最も関心をもつ部分であると感じるので、各項目にに対して取り組みをより具体的に書き出せたらいいと感じる

○学費も安くはないので、国や県の支援が受けられると退学率などは減ってくるのかなと感じる

（6）．教育環境

	評価項目	評価		
		今年度	前年度	比較
6-1.	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備する	2.2	1.8	+0.4
6-2.	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備する	2.5	2.0	+0.5
6-3.	防災に対する体制を整備する	2.8	2.8	0

【課題と今後の改善策やご意見】

〇学生の増加に伴い、施設・設備の充実を図りたい
〇実習室の不足　時間割を工夫して作成しているが厳しこともあり不便さを感じる

【学校関係者評価委員コメント】

〇将来を見据えて計画的に整備をしていく必要がある
〇教育を充実させるなら生徒の数を減らすか教室を増やすかというところに繋がってくるのだと思う
〇前年度まで意見が出ていた教室や手洗い場の数の問題に関しては、今年度から1階の実習室が使用できるようになって改善されつつあるように感じる
〇理容科の人数が増えているので理容科の教員補充は必須ではと感じる

（7）．学生の受入れ募集

	評価項目	評価		
		今年度	前年度	比較
7-1.	学生募集活動は適正に行う	3.4	3.4	0
7-2.	学生募集活動において、教育成果を正確に伝える	3.5	2.9	+0.6
7-3.	学納金は適正かつ妥当なものとなっている	3.5	3.0	+0.5

【課題と今後の改善策やご意見】

〇設備の広さ教員数等を考慮し、募集人数の最適化を図る必要があるのではと思う(特に理容科は教員が不足している)

【学校関係者評価委員コメント】

〇生徒数の見直しは教員の数、教室の広さを考慮したうえで見直しも必要ではと感じる
〇来校した際に学校の裏にたばこの吸い殻が落ちていたことが気になったので、教育機関として徹底して指導うしていく必要があるのではと感じる

（8）．財務

	評価項目	評価		
		今年度	前年度	比較
8-1.	中長期的に学校の財務基盤の安定化を図る	3.0	2.5	+0.5
8-2.	予算・収支計画は、有効かつ妥当に策定する	2.8	2.7	+0.1
8-3.	財務について会計監査を適正に行う	3.4	3.0	+0.4
8-4.	財務情報公開体制は整備されている	2.7	2.7	0

【課題と今後の改善策やご意見】

○財務情報は公開されているなら見てみたいです
○修繕費等は毎年備蓄しておくべき　建物の経年劣化が進んでおり急な修繕が必要な場面がこれまでにも何度かあったため

【学校関係者評価委員コメント】

（9）．法令等の遵守

	評価項目	評価		
		今年度	前年度	比較
9-1.	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営をする	3.5	3.0	+0.5
9-2.	個人情報に関し、その保護のための対策をする	3.6	2.9	+0.7
9-3.	自己評価の実施と問題点の改善を行う	3.1	2.7	+0.4
9-4.	自己評価結果を公開する	3.3	3.0	+0.3

【課題と今後の改善策やご意見】

〇問題点の改善がされていない箇所も多いように感じる
〇自己評価の文言を見直してみてもいいのではと感じる

【学校関係者評価委員コメント】

（１０）．社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価		
		今年度	前年度	比較
10-1.	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行う	3.1	2.8	+0.3
10-2.	学生のボランティア活動を奨励、支援する	3.1	3.0	+0.1
10-3.	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施する	2.7	2.6	+0.1

【課題と今後の改善策やご意見】

【学校関係者評価委員コメント】

○学生にはこの業に携わることも社会貢献を担っているおいうことを伝えていってほしい
○地域に根付いていくためにもボランティア活動やイベントへの参加は積極的にしていただきたい

【総括】

○これまでに比べるとどの項目においても点数が高くなっている　「自己評価」に対する認識の変化や全体の評価が上がってきていることはいい方向だと感じる
○(6)・(7)の項目に関しては直接教育の質に関係する項目になるかと思うので学校としてしっかり対応していく必要があるのではと思う